

地震被害シミュレーション調査結果の公表について

平成29年度に実施した地震被害シミュレーション（避難者予測・ライフライン被害編）の調査結果を10月1日に公表しますので、報告いたします。

1 公表方法

- (1) 広報すぎなみ10月1日号、区ホームページ
- (2) すぎナビ、地震被害想定ARアプリに結果データ掲載
- (3) 図書館、区民事務所、地域区民センター等にリーフレット設置

2 主な公表内容

【被害想定（冬、18時、風速8m/sの場合）】

・避難者予測	100,380人
・電力（停電率）	29.5%
・通信（固定電話不通率）	21.2%
・都市ガス（ガス供給停止率）	48.0%
・上水道（断水率）	14.3%
・下水道（管きよ被害率）	21.7%

※平成28年度の調査結果（震度予測・建物被害・人的被害等）が基礎データ

3 結果の公表にあたっての留意事項

- ・平成30年度においては、重点広報として「首都直下地震に備える」をテーマに、狭あい道路の拡幅整備、建物の耐震化・不燃化の促進、日頃からの備え（自助・共助）など、防災・減災に関する事業を取りまとめて周知していく。
- ・震災救援所運営連絡会において、地域の被害状況や危険度を認知してもらうことで、地域の防災意識の高揚に繋げ、また救援所運営などにも活用できるように周知を図っていく。

4 今後の周知等スケジュール（予定）

平成30年9月	防災まちづくりフェア (プレイベント:パネル展示、地震被害想定ARアプリデモ等)
11月	杉並区総合震災訓練(特設ブース設置、パネル展示等) すぎなみフェスタ2018(特設ブース設置、パネル展示等)
平成31年1月	防災まちづくりフェア(パネル展示等)
3月	3.11を忘れない(パネル展示等)